



平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	35,044	3.6	1,565	21.4	1,501	22.4	397	55.4
30年2月期第3四半期	33,813	4.3	1,991	14.1	1,935	13.0	891	39.1

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 329百万円 (62.1%) 30年2月期第3四半期 869百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	15.93	
30年2月期第3四半期	35.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	32,432	18,531	57.1	743.90
30年2月期	31,769	19,916	62.6	799.68

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 18,512百万円 30年2月期 19,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		9.00		7.00	16.00
31年2月期		5.00			
31年2月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	5.1	2,860	1.2	2,785	0.1	1,000	25.0	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	26,067,972 株	30年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	1,182,567 株	30年2月期	1,187,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	24,944,495 株	30年2月期3Q	24,867,771 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する分析」及び9ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い、緩やかな景気回復基調にあるものの、相次ぐ自然災害の国内経済への影響や、海外の政治や経済情勢の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向に加え、原材料価格の高騰や継続的な採用難・パートアルバイトの時給の上昇により、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは食の「安全・安心・健康」の向上に継続して取り組み、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに強固な企業体質づくりを推進し、企業価値向上に努めてまいりました。

店舗展開については、国内にて48店舗を出店し22店舗を退店、海外においては3店舗を出店し2店舗を退店いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内777店舗、海外16店舗の計793店舗(うち直営店舗569店舗、フランチャイズ店舗224店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、猛暑により外出を控える傾向や9月の台風の影響などのマイナス要因もあり、当社グループ全店舗の当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は99.9%となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は350億44百万円(前年同期比3.6%増)となりましたが、原材料価格の高騰や水道光熱費の上昇に加え、人手不足による人件費の上昇もあり、営業利益は15億65百万円(同21.4%減)、経常利益は15億1百万円(同22.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億97百万円(同55.4%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、2018年9月より広島産牡蠣を使用した秋冬の定番商品「かきちゃんぽん」を期間限定で販売いたしました。また、調理・サービスの質の向上を図るため社内コンテストを定期的に開催し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、国内で41店舗を出店し18店舗を退店、海外では3店舗を出店し2店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は国内で668店舗、海外で14店舗の計682店舗(うちフランチャイズ店舗206店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.0%となり、売上高は270億77百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は10億90百万円(同23.5%減)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、2018年10月より大ぶりの広島産牡蠣を使用した秋冬の人気商品である「かきふらい」シリーズ4商品を期間限定で販売いたしております。また、調理・サービスの質の向上を図るため、社内コンテストを開催し、お客さま満足度向上に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、7店舗を出店し4店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は国内で109店舗(卓袱浜勝を含む)、海外で2店舗の計111店舗(うちフランチャイズ店舗18店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は99.4%となり、売上高は77億84百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は2億66百万円(同32.3%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は16億1百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益1億97百万円(同14.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億63百万円増加し324億32百万円となりました。これは主に設備投資による現金及び預金が減少したこと及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ20億47百万円増加し139億円となりました。これは主に長期借入金が増加したこと及び社債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億84百万円減少し185億31百万円となりました。これは主に第三者割当による自己株式の処分によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年10月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成31年2月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,975,177	1,618,435
売掛金	810,400	931,973
商品及び製品	102,504	132,253
仕掛品	39,451	41,959
原材料及び貯蔵品	282,778	313,239
前払費用	344,253	360,336
繰延税金資産	226,777	227,434
未収入金	745,833	1,012,853
その他	174,078	385,560
流動資産合計	8,701,255	5,024,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,913,877	10,953,407
機械装置及び運搬具(純額)	852,326	826,129
土地	4,823,093	4,820,707
リース資産(純額)	120,138	170,971
建設仮勘定	402,468	3,477,593
その他(純額)	833,195	1,010,085
有形固定資産合計	16,945,099	21,258,894
無形固定資産	402,733	413,259
投資その他の資産		
投資有価証券	806,270	698,836
繰延税金資産	738,202	753,130
退職給付に係る資産	100,165	119,370
差入保証金	1,119,504	1,121,527
建設協力金	100,696	90,072
敷金	2,525,569	2,643,303
その他	352,539	332,656
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	5,720,341	5,736,291
固定資産合計	23,068,175	27,408,445
資産合計	31,769,430	32,432,490

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	996,533	1,179,989
1年内償還予定の社債	216,000	316,000
短期借入金	750,000	—
1年内返済予定の長期借入金	920,388	1,223,016
リース債務	123,221	124,663
未払金	781,860	1,067,601
未払費用	1,108,977	1,661,503
未払法人税等	258,105	198,357
未払消費税等	256,941	189,099
株主優待引当金	97,014	67,453
店舗閉鎖損失引当金	24,531	10,977
販売促進引当金	5,207	—
資産除去債務	19,062	23,986
その他	618,081	628,526
流動負債合計	6,175,924	6,691,175
固定負債		
社債	780,000	914,000
長期借入金	1,222,305	2,437,581
長期末払金	558,599	563,050
リース債務	267,407	327,780
株式給付引当金	154,952	164,995
退職給付に係る負債	1,030,516	1,109,153
長期預り保証金	384,617	396,117
資産除去債務	1,244,433	1,272,545
その他	34,240	24,453
固定負債合計	5,677,071	7,209,677
負債合計	11,852,996	13,900,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	8,441,135	7,020,129
利益剰余金	4,883,282	4,979,960
自己株式	△2,770,252	△2,762,432
株主資本合計	19,556,927	18,240,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,249	182,064
為替換算調整勘定	56,444	50,983
退職給付に係る調整累計額	49,689	38,792
その他の包括利益累計額合計	339,383	271,840
非支配株主持分	20,123	19,376
純資産合計	19,916,434	18,531,637
負債純資産合計	31,769,430	32,432,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	32,838,843	34,087,044
売上原価	10,952,593	11,347,401
売上総利益	21,886,249	22,739,642
その他の営業収入	974,299	957,921
営業総利益	22,860,548	23,697,563
販売費及び一般管理費	20,869,439	22,132,422
営業利益	1,991,109	1,565,141
営業外収益		
受取利息	3,263	2,785
受取配当金	7,350	8,143
為替差益	24,964	4,637
未回収利用券受入益	—	10,316
違約金収入	—	13,000
その他	10,789	17,399
営業外収益合計	46,367	56,283
営業外費用		
支払利息	28,154	21,664
リース解約損	14,906	28,286
社債発行費	—	5,289
持分法による投資損失	35,093	43,117
その他	24,187	22,052
営業外費用合計	102,342	120,410
経常利益	1,935,135	1,501,014
特別利益		
投資有価証券売却益	9,999	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9,020	801
受取補償金	60,729	43,560
その他	5,185	1,000
特別利益合計	84,934	45,362
特別損失		
固定資産除却損	82,971	330,680
店舗閉鎖損失引当金繰入額	15,403	53,184
減損損失	124,061	114,327
災害による損失	868	4,252
投資有価証券評価損	19,549	—
役員退職慰労金	111,780	—
その他	314	28,548
特別損失合計	354,948	530,993
税金等調整前四半期純利益	1,665,122	1,015,383
法人税等	773,814	617,182
四半期純利益	891,307	398,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	746
親会社株主に帰属する四半期純利益	891,307	397,453

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	891,307	398,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,609	△51,184
為替換算調整勘定	△27,124	△3,898
退職給付に係る調整額	△17,092	△10,896
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,180	△3,056
その他の包括利益合計	△21,788	△69,036
四半期包括利益	869,519	329,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	869,519	329,910
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月13日開催の取締役会で決議し、平成30年5月24日開催の第54期定時株主総会で承認された第三者割当による自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は1,422,414千円、資本剰余金は1,421,814千円減少しました。さらに、平成30年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、自己株式は1,424,382千円増加しました。

この結果等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,020,129千円、自己株式が2,762,432千円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	25,748,712	7,903,389	161,040	33,813,142	—	33,813,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,397,037	1,397,037	△1,397,037	—
計	25,748,712	7,903,389	1,558,077	35,210,179	△1,397,037	33,813,142
セグメント利益	1,425,543	393,386	173,077	1,992,006	△897	1,991,109

(注) 1. セグメント利益の調整額△897千円には、セグメント間取引消去21,337千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△22,234千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は37,547千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は86,514千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	27,077,277	7,784,804	182,883	35,044,965	—	35,044,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,418,411	1,418,411	△1,418,411	—
計	27,077,277	7,784,804	1,601,294	36,463,376	△1,418,411	35,044,965
セグメント利益	1,090,071	266,170	197,933	1,554,175	10,966	1,565,141

(注) 1. セグメント利益の調整額10,966千円には、セグメント間取引消去31,651千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△20,684千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は62,935千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は51,391千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成31年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	22,870	8,670	31,540	7,227	1,377	8,604	849	555	41,550
連結累計 期間	店舗数 (店)	476	206	682	93	18	111	—	—	793
平成30年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	21,785	8,276	30,061	7,297	1,352	8,650	705	328	39,745
連結累計 期間	店舗数 (店)	452	201	653	92	18	110	—	—	763
対前年比率	売上高	105.0%	104.8%	104.9%	99.0%	101.8%	99.5%	120.3%	169.4%	104.5%
	店舗数	105.3%	102.5%	104.4%	101.1%	100.0%	100.9%	—	—	103.9%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として揭示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。